

研修・コンサルテーマのご案内

【研修のご案内】

問題はありませんか？

質問の趣旨

対応テーマ

【ヒューマンエラー、ポカミス】

- ①実務作業のエラー、ポカミスによりQCDSに問題が生じていませんか？
- ②「ポカよけ」などの対策をしても、似たようなエラー発生が繰返されていませんか？
- ③ヒューマンエラーによる、コンプライアンス、情報セキュリティ、利益減少、顧客満足などの心配はありますか？

ヒューマンエラーは、故意かポカでルール違反をすることによって発生します。

対策として「ポカよけ」を行なわれる事が多い様ですが、これは主に行動規制により発生を防ぐもので、故意の違反やポカ自体の存在は残ります。その為ポカよけだけでは、何らかのエラー発生の種類は存在し続けることになります。

ヒューマンエラー、ポカミスも、原因究明・要因追及してきちんと是正・予防処置を行ない、管理を充実することが大切です。

ヒューマンエラー、ポカミス

- 「会社のリスク、ヒューマンエラー・マネジメント」
- 「ヒューマンエラー、ポカミス防止」
- 「実務のエラー、ポカミス対策」

製品・技術・方法と人の変化・・・
ヒューマンエラーは、
今後増えます → 対応必須！
[パンフレット]

【課題解決、問題解消】

- ①管理職は、目標・計画実現の為の課題を把握し対応できていますか？
- ②QCDS確保の妨げとなる問題を適切に把握し対処出来ていますか？
- ③第一線監督者や実務者は、問題を発生させないように注意して業務活動を行っていますか？

課題は、目的・目標等をクリアする為にクリアすべき事項でポジティブなものが多い様です。

問題は、計画・標準等のあるべき姿と現状・実態のギャップで、多くはネガティブなものです。

対応すべき課題・問題は、それぞれの役割、責任・権限によって異なります。会社では、それぞれの人が立場に応じて課題・問題を適切に発見・把握し、対応、報連相することが必要です。

課題解決、問題解消

- 「課題解決、問題解消、管理の基本」
- 「製造現場の問題発見・改善」

【現場改善、IE・QC技法】

- ①品質管理活動は 充分に行われていますか、不良・不具合に変化や増加傾向はありませんか？
- ②効率化やコストダウンの改善は、ロスや問題点を見つけて体系的に行われていますか？

QCは顧客満足の手法と思われがちです。しかし、いくら不良が発生しても納期を守り最終検査で不良を通さなければ満足は得られます。QCの実際の効果は、不良にかかったコストの削減と言えます。QC7つ道具は、その問題点を見つけ出す手法です。

また、生産のロスを見つけるのはIEの手法が適しています。IEには、分析手法・改善手法・管理手法があります。

現場改善、IE・QC技法

- 「QCの基礎」
- 「5SとIEの改善技法」
(現場実務のコストダウン手法)

会社での問題等について、
研修、自社診断研修、実践研修、
コンサルティングなどで
支援・対応いたします。



【お問合せ】

研修・コンサルテーマのご案内

【研修のご案内】

問題はありませんか？

質問の趣旨

対応テーマ

【変化対応の為に 生産革新】

- ①受注・売上量のわりに、残業等が多くなっていませんか？
- ②準備や段取の時間・回数が増えていませんか？
- ③工程間・工程内の在庫が増加していませんか？
- ④人と機械の分業は適切ですか、さらに機械化・自動化を進める必要はありますか？

多くの会社で受注の多品種小量化により、段取替えが増え、主作業の時間比率が減少しコストアップしています。
また、小量生産と短納期要求にこたえるために細切れの在庫が増える傾向もみられます。
人の能力、仕事の範囲、働き方等が変化しています。機械も機能・性能が向上し、個別生産に向けた機械も出てきて、幅広い対応が可能になっています。
今後の製品・受注と労働形態などを想定し、人と機械の最適組合せをよく検討することが望まれます。

変化対応の為に 生産革新

- 「多品種少量対応のフレキシブル生産システム」
- 「短納期対応と在庫削減の考え方」
- 「機械化・自動化・スマート化のステップ」

受注、製品、素材・・・変化に応じ、生産方法も変化させる！

【人材育成・技術技能伝承】

- ①今後必要な技術等は明確ですか？
- ②人材の確保・育成は、戦略的・計画的に行っていますか？
- ③人材の管理、指導・教育・OJTは、うまく出来ていますか？

人材育成は 時間とお金がかかります。
しかし、技術の進歩、作業の変化、人の考え方の変化などがあり、従来と同じ方法で人材育成できるわけではないと考えられます。(戦略的・体系的に取り組むべき)
指導・教育・OJTは適切な方法・内容で、計画的・効率的に行うことが必要です。

人材育成・技術技能伝承

- 「人材育成・技術技能伝承システム」
- 「現場力を高める指導、教育・訓練・OJT」

【原価マネジメント】

- ①製品別原価は把握していますか、赤字製品はありますか？
- ②原価ロス項目を明確にし、体系的な原価管理を行っていますか？
- ③受注の都度、原価計算・対策をしていますか？

原価マネジメントを行いきちんと利益を出していくためには、製品別の製造原価を知り、改善・管理を適切に行うことが必要と考えられます。
また何事もなければ黒字の製品でも、やり損ないで時間がかかる、失敗して材料を損するなどのトラブルがあれば赤字になることもあり得ます。
そうならない為には 管理が必要です。

原価マネジメント

- 「原価管理システムの構築」
- 「原価企画と原価改善・管理」(赤字を出さない原価改善・管理)

【生産管理】

- ①生産は、計画通りに進められていますか？
- ②QCDSの確保は、十分に出来ていますか？

受注や労働環境の変化により、生産形態が変化しています。
そのため、生産効率の低下、人によるエラー、ミス等が増加する傾向があります。
生産体制は、QCDSを最適に保つことを考え改善・管理をすることが必要です。

生産管理

- 「生産管理の基礎」
- 「生産管理の考え方」(入門編)

変化への対応は、体系的・計画的に行いましょう。研修・コンサル等でご支援致します。



【お問合せ】

研修・コンサルテーマのご案内

【研修のご案内】

問題は ありませんか？

質問の趣旨

対応テーマ

【経営戦略・計画】

- ①経営計画等は、戦略的に考案していますか？
- ②今後の受注・製品をどうするか考えていますか？
- ③今後の経営形態、人材育成、機械化・自動化の方向性は？

将来は過去の延長上にあるわけではありません。経営戦略も過去の延長だけで考えるのは、不十分と考えられます。
 今後の経営環境を見据えて戦略的に経営計画を立案することが望まれます。
 また今後は、製品戦略に基づき、人と機械の最適組合せを考えたいうえで人材育成と機械化・自動化・スマート化を考えることが必要です。

経営戦略・計画
 「設経営戦略立案」
 「今後の設備・人材の考え方」

【成長戦略・製品戦略】

- ①今後の受注は、大丈夫ですか？適切な受注量は確保できますか？
- ②主力製品のライフサイクルは考えていますか、衰退期に入っていないですか？
- ③脱下請、自立経営は…その為のオリジナル製品は、必要ない？

現在の受注が今後も安定しているのならよいかもしれませんが、社会は大きく・早く変化し製品ライフサイクルは短命化しています。
 さらに多品種小量・短納期化等を考えると、他社依存から、脱下請けを考える事が必要かもしれません。
 その為には、自社のオリジナル製品が欲しいところです。
 今後は、財務資本に加え、知的資本の有効利用を考える時代です。

成長戦略・製品戦略
 「成長戦略・新製品開発と知的資本経営」
 「新製品・新事業開発」

【経営管理システム（組織管理）】

- ①「管理とは何をすること？」管理職は、管理をしていますか？
- ②各階層の責任権限、各部門の役割分担は明確ですか、PDCAは適切に回されていますか？
- ③指示・説明や報連相に滞り・不都合はありませんか？

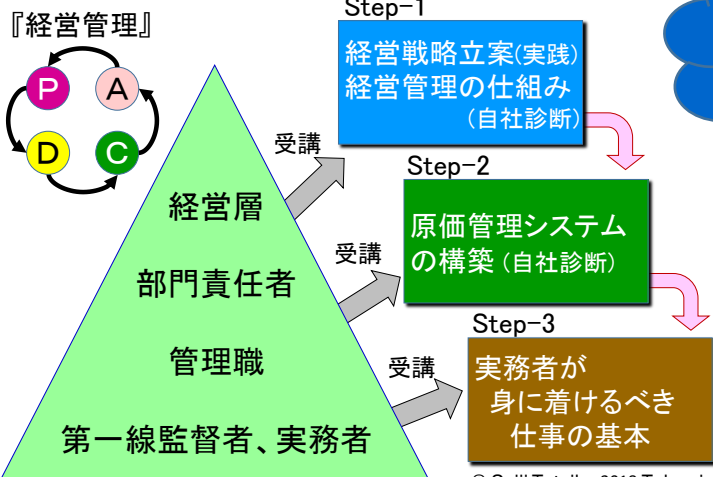
すべての〇〇管理は、組織管理の下で機能します。
 管理職は、管理することが仕事ですが、「管理とは何をすること？」と聞いても答えられない方がほとんどです。
 まず、管理活動ができる体制や知識などを与えることが必要かもしれません。

経営管理システム（組織管理）
 「経営管理の仕組み」
 「管理職の基礎知識」
 「実務者の仕事の基本」

 ISOマネジメントシステム

【お問合せ】

「経営戦略・計画実現の生産体制整備」



© Seiji Tateiba 2018 Tokyo jp

研修は、経営層や管理者、実務者など階層ごとの連携受講がお勧めです。



月例で「無料経営セミナー」を開催しています